



追加型投信 / 内外 / 株式

ワールド・ビューティー・オープン (為替ヘッジあり) / (為替ヘッジなし) 決算・運用状況のお知らせ

ファンド情報提供資料
データ基準日: 2018年12月10日

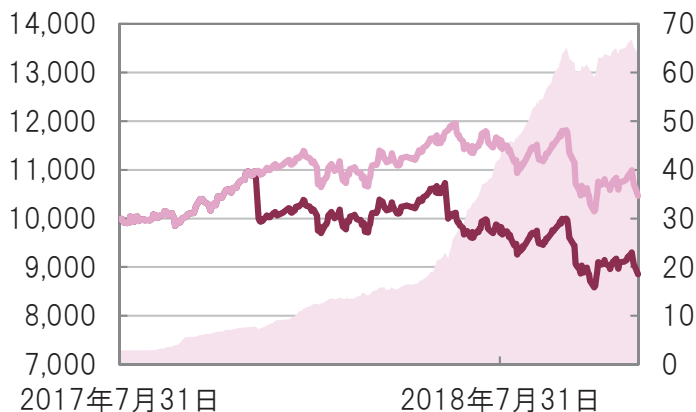
平素は「ワールド・ビューティー・オープン(為替ヘッジあり) / (為替ヘッジなし)」をご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。

当ファンドは2018年12月10日に第3期(2018年6月12日～2018年12月10日)の決算を迎えましたが、当期の分配金の支払いは、基準価額が10,000円を超えていないため、「為替ヘッジあり」、「為替ヘッジなし」ともに見送らせていただくことをご報告いたします。加えて、運用状況についてもご説明いたします。

今後とも引き続き、当ファンドをご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

基準価額・純資産総額・分配金の推移(期間: 2017年7月31日(設定日)～2018年12月10日)

為替ヘッジあり



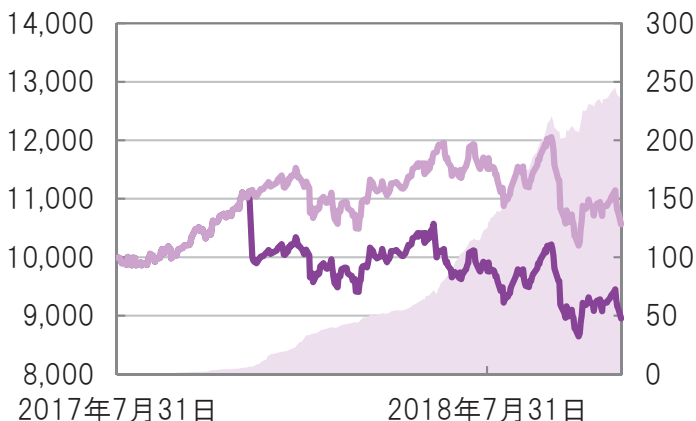
— 純資産総額(億円)【右軸】
 — 基準価額(円)【左軸】
 — 基準価額(分配金再投資)(円)【左軸】

【分配金実績(1万口当たり、税引前)】

第1期 (2017年12月)	第2期 (2018年6月)	第3期 (2018年12月)
973円	766円	0円

設定来累計
1,739円

為替ヘッジなし



— 純資産総額(億円)【右軸】
 — 基準価額(円)【左軸】
 — 基準価額(分配金再投資)(円)【左軸】

【分配金実績(1万口当たり、税引前)】

第1期 (2017年12月)	第2期 (2018年6月)	第3期 (2018年12月)
1,147円	582円	0円

設定来累計
1,729円

・運用状況によっては、分配金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。・基準価額、基準価額(分配金再投資)は、運用管理費用(信託報酬)控除後の値です。・信託報酬率は、後記の「ファンドの費用」に記載しています。・基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したも

のとして計算しています。
 ■上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していません。

ワールド・ビューティー・オープン(為替ヘッジあり) / (為替ヘッジなし)

足下の投資環境と運用状況

自然災害による日本のインバウンド需要の低下や 投資家のリスク回避的な動きが、一時的に強まる。

- 第3期(2018年6月12日～2018年12月10日)における当ファンドの基準価額は、下落しました。
- 日本での地震や台風など自然災害の影響があり、一部のビューティー関連企業では、インバウンド関連の売上が一時的に減少しました。
- 「資生堂」「ファンケル」「アライン・テクノロジー」といった相対的に成長期待が高い銘柄が、米中間の通商問題や欧州政治に対する不透明感の強まりを背景に、投資家がリスク回避的な動きを強めたことなどから、下落しました。
- ビューティー関連企業の中には、中国関連事業が成長の源泉となっている企業があります。過去の事例などからみても、ビューティー市場と経済環境との相関性は低いものの、足下の米中間の通商問題の深刻化による業績悪化懸念が強まり、ビューティー関連企業の株価が下落しました。
- 組入銘柄については、これまで上位に組み入れていた「ロレアル」や「ポーラ・オルビスホールディングス」の組入比率を引き下げた一方で、「アプターグループ」や「アルタ・ビューティ」の組入比率を引き上げました。
- 「ロレアル」は、低価格帯商品を中心とした競争環境が悪化したことを懸念し、組入比率を引き下げました。また、「ポーラ・オルビスホールディングス」は2017年に発売した、シワ改善美容液「リンクルショット」のブームによる業績押し上げ効果が一巡したと考え、組入比率を引き下げました。
- 一方で、「アプターグループ」はポンプや化粧品容器の蓋などの設計・製造・販売を行っており、スプレータイプの化粧品が普及していることや、より凝ったデザインの製品ニーズが高まっていることを評価し、組入比率を引き上げました。また、化粧品小売チェーンである「アルタ・ビューティ」については、百貨店の閉鎖などによる専門店ニーズの高まりや、取り扱い化粧品メーカーが増加している点に注目し、組入比率を引き上げました。

組入上位10銘柄の変化

2018年4月

	銘柄名	為替ヘッジあり	為替ヘッジなし
1	エステローダー	7.12%	7.12%
2	資生堂	6.09%	6.09%
3	コーセー	4.75%	4.75%
4	ロレアル	4.48%	4.48%
5	バイヤスドルフ	4.24%	4.24%
6	クローダ・インターナショナル	3.95%	3.95%
7	ポーラ・オルビスホールディングス	3.66%	3.66%
8	アライン・テクノロジー	3.58%	3.58%
9	アルタ・ビューティ	2.93%	2.93%
10	ジボーダン	2.64%	2.63%

2018年10月

	銘柄名	為替ヘッジあり	為替ヘッジなし
1	資生堂	8.18%	8.17%
2	エステローダー	6.78%	6.78%
3	ファンケル	5.30%	5.29%
4	コーセー	3.96%	3.96%
5	ジボーダン	3.96%	3.95%
6	クローダ・インターナショナル	3.79%	3.78%
7	アルタ・ビューティ	3.75%	3.74%
8	バイヤスドルフ	3.67%	3.66%
9	アプターグループ	3.65%	3.65%
10	アライン・テクノロジー	3.04%	3.03%

・「組入上位10銘柄」の比率は純資産総額に対する割合です。・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。・2時点で重複している銘柄に色づけをしています。

■ 上記は、過去の実績・状況または作成時点での見直し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していません。 ■ 上記は組入銘柄の推奨を目的とするものではなく、当ファンドにおいて上記銘柄を組み入れることを保証するものではありません。

ワールド・ビューティー・オープン(為替ヘッジあり) / (為替ヘッジなし)

今後の見通しと運用方針

自然災害や中国経済の減速によるビューティー関連企業への影響は限定的。今後も着実な業績拡大を見込む。

- 当ファンドでは、今後も引き続き、「アジア」「高価格帯商品」「スキンケア」の3点に着目した運用を行っていきます。
- 日本の化粧品メーカーについては、中国元安の影響などによってインバウンド需要の低下が懸念され、株価が軟調となる局面がありました。しかし、各社の2018年7-9月期決算では、台風や地震などによる影響を除けば日本製の高性能化粧品に対する需要は引き続き強く、今後の業績についても前向きなコメントが出ています。そのため、
- 訪日観光客数の増加やインバウンド需要の継続的な拡大などが実績として確認されるにつれて、株価も上昇基調へ戻ることが期待されます。
- また、先進国においても肌質を重視するトレンドがあることから、機能性の高い高価格帯のスキンケア商品は市場拡大が見込まれます。
- 今後も、市場環境を見極めながら中長期的な成長が期待される銘柄への投資を行ってまいります。

上記の運用方針は作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等により、当該運用方針が変更される場合があります。

今後、着目する「3つのキーワード」

今後の着目点

1

アジア

今後の着目点

2

高価格帯商品

今後の着目点

3

スキンケア

■ 上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。
 ■ 着目点は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。

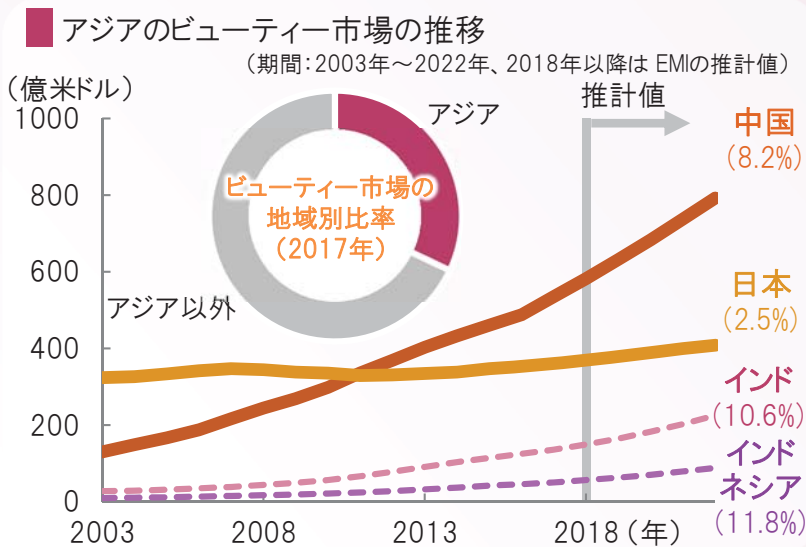
ワールド・ビューティー・オープン(為替ヘッジあり) / (為替ヘッジなし)

今後の着目点

1

アジア

アジア最大の市場規模を誇り、 今後も成長が期待される中国



世界のビューティー市場全体の
30%以上を占めるアジアで、
最大の市場規模を誇るのが中国

(出所)ユーロモニター・インターナショナル(以下、EMI)のデータを基に
三菱UFJ国際投信作成
・グラフ右の()の中は、2017~2022年の予想成長率(年率)

中国のミレニアル世代の人口は
日本の約15倍

■ アジアの人口 (2018年度推計値) (万人)

	全人口	ミレニアル世代 の人口
中国	138,469	43,244
インド	129,683	44,346
インドネシア	26,279	8,666
(ご参考)日本	12,617	2,785
(ご参考)韓国	5,142	1,494

日本の約15倍

(出所)United States Census Bureauのデータを基に三菱UFJ国際投信作成
・本資料では1980年~2000年に生まれた世代を「ミレニアル世代」と定義しています。

- 中国のミレニアル世代は“一人っ子政策”の中で生まれた世代であり、その影響もあって大切に育てられてきました。そのため、親世代とは異なり品質を重視し、買うなら一番良いものを買おうとする傾向がみられます。その結果、欧米や日本製の高品質で安心感のある化粧品の需要が拡大し、日本を大きく上回る市場の成長が期待されています。
- 中国の景気減速によって影響を受けている自動車や宝飾品とは異なり、手頃なラグジュアリーブランドである化粧品は、今後も着実な需要拡大が期待されます。
- これらの需要は、訪日外国人旅行者を対象とした小売事業で機内販売や空港免税店などの販売、リピート購買を通じてビューティー関連企業への大きな恩恵となっています。
- 中国では、化粧品等消費財の輸入関税が、2018年7月1日から引き下げられました。世界的な大手ビューティー関連企業を中心に、こうした市場開放の恩恵が受けられそうです。

■ 上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。

ワールド・ビューティー・オープン(為替ヘッジあり) / (為替ヘッジなし)

今後の着目点

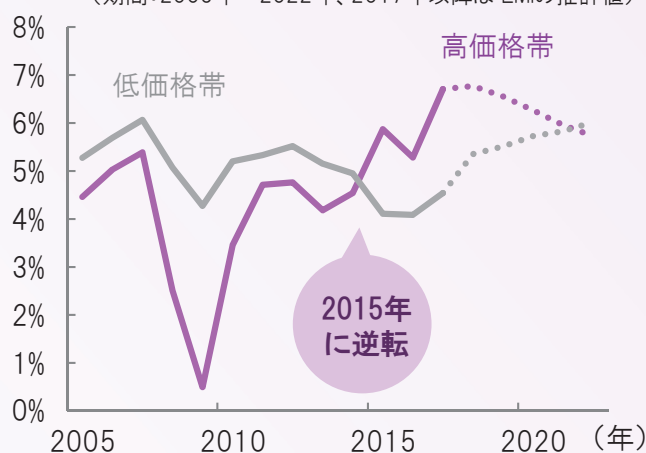
2

高価格帯商品

世界のビューティー市場において
人気が高まる「高価格帯」の化粧品

化粧品・価格帯別の売上高伸び率の推移

(期間:2005年~2022年、2017年以降は EMIの推計値)



2015年以降、
世界経済が堅調なことから
「高価格帯」の化粧品の売上げが好調

(出所)EMIのデータを基に三菱UFJ国際投信作成
・EMIによる分類「マス」「プレミアム」をそれぞれ「低価格帯」「高価格帯」としています。

- 世界のビューティー市場では、リーマンショック以降、賃金の低下などを背景に低価格帯商品の売上高伸び率が高価格帯商品を上回っていたものの、2015年以降、そのトレンドが逆転しました。高価格帯優位の動きが2021年頃まで続くと思われています。
- 特に中国市場での品質重視の傾向、訪日観光客の増加は、高価格帯商品の好調さを支えると考えています。
- また、先進国での高齢化進展によるアンチエイジング需要拡大は、機能性の高い高価格帯が選好されやすい市場環境を作り出しています。このように高価格帯が優位な状況は、少なくとも今後数年間は継続することが見込まれています。

■ 上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。

ワールド・ビューティー・オープン(為替ヘッジあり) / (為替ヘッジなし)

今後の着目点

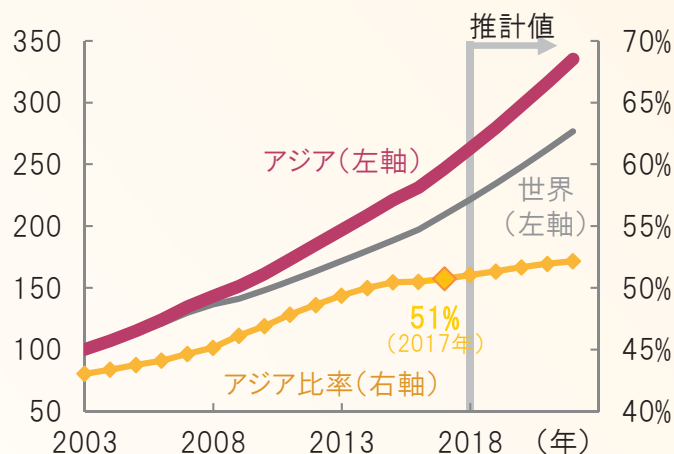
3

スキンケア

基礎的な化粧品であることから 需要のブレが見られにくい「スキンケア市場」

■ スキンケア市場の伸びとアジア比率の推移

(期間: 2003年~2022年、2018年以降は EMIの推計値)

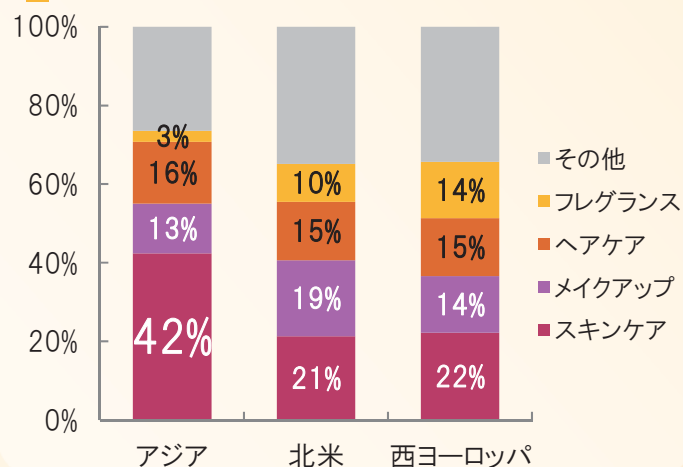


(出所) EMIのデータを基に三菱UFJ国際投信作成
・アジア、世界のスキンケア市場の伸びは2003年=100として指数化

アジアのビューティー市場の
40%以上を占める
「スキンケア商品」

世界の「スキンケア市場」の
50%以上を占めるアジア

■ アジア・北米・西ヨーロッパのビューティー市場の内訳(2017年)



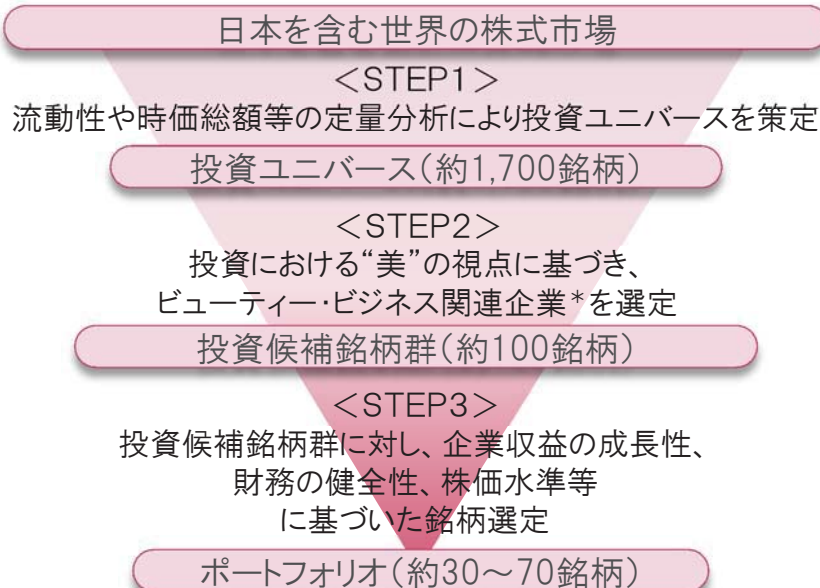
(出所) EMIのデータを基に三菱UFJ国際投信作成
・分類はEMIによります。

- 成長が続くアジア市場では、文化的な背景から他の地域と比較してスキンケア商品を重視する傾向があり、市場全体に占めるスキンケアの割合は欧米の約2倍の42%となっています。そのため、アジアのビューティー市場が大きくなれば、スキンケア商品需要の拡大に繋がると考えています。
- さらに、欧米では20代や30代を中心に肌本来の美しさを重視するナチュラル志向が高まっており、これらの傾向もスキンケア市場のサポート要因となっています。
- 当ファンドでは、このスキンケア市場の伸びを享受すべく、「ニベア」などの商品で知られる“バイヤスドルフ”に着目しています。当ファンドでは、同銘柄の組み入れを、2017年8月末の18位から2018年10月末には8位まで引き上げています。

■ 上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。
■ 計測期間が異なる場合は、結果も異なる点にご注意ください。■ 上記は組入銘柄の推奨を目的とするものではなく、当ファンドにおいて上記銘柄を組み入れることを保証するものではありません。

ワールド・ビューティー・オープン(為替ヘッジあり) / (為替ヘッジなし)

運用プロセス



*ビューティー・ビジネス関連企業とは、委託会社の視点において、「人の美しさ」の向上に寄与する事業などを行い、今後の美容関連市場における成長の恩恵を享受すると考えられる企業をいいます。
・上記は銘柄選定の視点を示したものであり、すべてを網羅するものではありません。また、実際にファンドで投資する銘柄の将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。上記プロセスは、今後変更されることがあります。

投資における“美”の視点



ファンドのポイント解説動画 公開中

もっと知りたい!「ワールド・ビューティー」



【前編】

理由① 美の安定性
理由② 美の成長性



【後編】

理由③ 美のイノベーション

三菱UFJ国際投信のホームページからご覧いただけます。

ファンド詳細ページ > ファンド関連のお知らせ より もっと知りたい!「ワールド・ビューティー」【前編】/【後編】にアクセス!

ワールド・ビューティー・オープン(為替ヘッジあり)／(為替ヘッジなし)

ファンドの目的・特色

■ファンドの目的

日本を含む世界各国の株式を実質的な主要投資対象とし、中長期的な値上がり益の獲得をめざします。

■ファンドの特色

特色1 日本を含む世界各国のビューティー・ビジネス関連企業の株式を主要投資対象とします。

・当ファンドにおいて、ビューティー・ビジネス関連企業とは、委託会社の視点において、「人の美しさ」の向上に寄与する事業などを行い、今後の美容関連市場における成長の恩恵を享受すると考えられる企業をいいます。

【投資における“美”の視点】

魅せる…本来の美しさをより際立たせて表現する“魅せる”という視点

(メイキャップ・フレグランスなど)

磨く…本来の美しさを維持・向上させる“磨く”という視点

(スキンケア・ヘアケア・オーラルケア・サプリメント・美容機器など)

支える…新たな美しさの研究やサービスの提供など、様々な角度から美を“支える”という視点

(研究開発・美容情報サービス・化粧品販売チェーン・医療機器・アンダーウェアなど)

特色2 株式への投資にあたっては、企業収益の成長性、財務の健全性、株価水準等を考慮して、銘柄選定を行います。

・投資候補銘柄およびポートフォリオの組入銘柄については、適宜見直しを行います。

特色3 為替ヘッジの有無により、(為替ヘッジあり)、(為替ヘッジなし)が選択できます。

・(為替ヘッジあり)は、組入外貨建資産について、原則として為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減をはかります。なお、為替ヘッジが困難な一部の通貨については、当該通貨との相関等を勘案し、他通貨による代替ヘッジを行う場合があります。

・(為替ヘッジなし)は、組入外貨建資産について、原則として為替ヘッジを行いませんので、為替相場の変動による影響を受けます。

特色4 年2回の決算時(6・12月の各9日(休業日の場合は翌営業日))に分配を行います。

・分配金額は委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。

原則として、決算日の基準価額水準が当初元本額10,000円(10,000口当たり)を超えている場合には、当該超えている部分について、分配対象額の範囲内で、全額分配を行います。(資金動向や市況動向等により変更する場合があります。)

将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

■ファンドの仕組み

・運用はワールド・ビューティー・マザーファンドへの投資を通じて、主として日本を含む世界各国の株式へ投資するファミリーファンド方式により運用を行います。

※各ファンド間でのスイッチングが可能です。

販売会社によっては、一部のファンドのみの取扱いとなる場合やスイッチングの取扱いを行わない場合があります。

スイッチングを行う場合の購入時手数料は、販売会社が定めています。また、スイッチングにより解約をする場合は、解約金の利益に対して税金がかかります。

くわしくは販売会社にご確認ください。

市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。

ご購入の際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

ワールド・ビューティー・オープン(為替ヘッジあり)／(為替ヘッジなし)

投資リスク

■基準価額の変動要因

ファンドの基準価額は、組み入れている有価証券等の価格変動による影響を受けますが、これらの運用により信託財産に生じた損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。

したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。

投資信託は預貯金と異なります。

ファンドの基準価額の変動要因として、主に以下のリスクがあります。

価格変動 リスク	株式の価格は、株式市場全体の動向のほか、発行企業の業績や業績に対する市場の見通しなどの影響を受けて変動します。組入株式の価格の下落は、基準価額の下落要因となります。
特定の テーマに 沿った銘柄 に投資する リスク	当ファンドは、特定のテーマ(ビューティー・ビジネス関連企業の株式)に沿った銘柄に投資するため、株式市場全体の動きと当ファンドの基準価額の動きが大きく異なる場合があります。 また、より幅広い銘柄に分散投資する場合と比べて当ファンドの基準価額が大きく変動する場合があります。
為替変動 リスク	<p>■ワールド・ビューティー・オープン(為替ヘッジあり)</p> <p>組入外貨建資産については、為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図りますが、為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。なお、為替ヘッジが困難な一部の通貨については、当該通貨との相関等を勘案し、他の通貨による代替ヘッジを行う場合があります。その場合、為替ヘッジ効果が得られない可能性や、円と当該通貨との為替変動の影響を受ける可能性があります。為替ヘッジを行う場合で円金利がヘッジ対象通貨の金利より低いときには、これらの金利差相当分のヘッジコストがかかることにご留意ください。ただし、為替市場の状況によっては、金利差相当分以上のヘッジコストとなる場合があります。</p> <p>■ワールド・ビューティー・オープン(為替ヘッジなし)</p> <p>組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いませんので、為替変動の影響を受けます。</p>
信用 リスク	株式の発行企業の経営、財務状況が悪化したり、市場においてその懸念が高まった場合には、株式の価格が下落すること、配当金が減額あるいは支払いが停止されること、倒産等によりその価値がなくなること等があります。
流動性 リスク	株式を売買しようとする際に、その株式の取引量が十分でない場合や規制等により取引が制限されている場合には、売買が成立しなかったり、十分な数量の売買が出来なかったり、ファンドの売買自体によって市場価格が動き、結果として不利な価格での取引となる場合があります。
カントリー・ リスク	ファンドは、新興国の株式に投資を行うことがあります。新興国への投資は、投資対象国におけるクーデターや重大な政治体制の変更、資産凍結を含む重大な規制の導入、政府のデフォルト等の発生による影響などを受けることにより、先進国への投資を行う場合に比べて、価格変動・為替変動・信用・流動性の各リスクが大きくなる可能性があります。

上記は主なリスクであり、これらに限定されるものではありません。

■その他の留意点

・ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリングオフ)の適用はありません。

・収益分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益の水準を示すものではありません。収益分配は、計算期間に生じた収益を超えて行われる場合があります。投資者の購入価額によっては、収益分配金の一部または全部が、実質的な元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。収益分配金の支払いは、信託財産から行われます。したがって純資産総額の減少、基準価額の下落要因となります。

・ファンドは、ファミリーファンド方式により運用を行います。そのため、ファンドが投資対象とするマザーファンドを共有する他のベビーファンドの追加設定・解約によってマザーファンドに売買が生じた場合などには、ファンドの基準価額に影響する場合があります。

ご購入の際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

ワールド・ビューティ・オープン(為替ヘッジあり)／(為替ヘッジなし)

手続・手数料等

■お申込みメモ

購入単位	販売会社が定める単位／販売会社にご確認ください。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額 ※基準価額は1万口当たりで表示されます。基準価額は委託会社の照会先でご確認ください。
換金単位	販売会社が定める単位／販売会社にご確認ください。
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して5営業日目から販売会社においてお支払いします。
申込不可日	次のいずれかに該当する日には、購入・換金はできません。 ・ニューヨーク証券取引所、ニューヨークの銀行の休業日 ※具体的な日付については、委託会社のホームページ(「ファンド関連情報」内の「お申込み不可日一覧」)をご覧ください。
申込締切時間	原則として、午後3時までに販売会社が受けたものを当日の申込分とします。
換金制限	各ファンドの資金管理を円滑に行うため、大口の換金のお申込みに制限を設ける場合があります。
購入・換金申込受付の中止及び取消し	金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止、その他やむを得ない事情(投資対象国・地域における非常事態(金融危機、デフォルト、重大な政策変更や資産凍結を含む規制の導入、自然災害、クーデターや重大な政治体制の変更、戦争等)による市場の閉鎖もしくは流動性の極端な減少等)があるときは、購入・換金のお申込みの受付を中止すること、およびすでに受けた購入・換金のお申込みの受付を取消すことがあります。また、信託金の限度額に達しない場合でも、各ファンドの運用規模・運用効率等を勘案し、市況動向や資金流入の動向等に応じて、購入のお申込みの受付を中止することがあります。
スイッチング	各ファンド間でのスイッチングが可能です。販売会社によっては、一部のファンドのみの取扱いとなる場合やスイッチングの取扱いを行わない場合があります。スイッチングを行う場合の購入時手数料は、販売会社が定めています。また、スイッチングにより解約をする場合は、解約金の利益に対して税金がかかります。くわしくは販売会社にご確認ください。
信託期間	2027年6月9日まで(2017年7月31日設定)
繰上償還	各ファンドの受益権の口数が10億口を下回ることとなった場合等には、信託期間を繰上げて償還となることがあります。
決算日	毎年6・12月の9日(休業日の場合は翌営業日)
収益分配	年2回の決算時に分配を行います。 販売会社との契約によっては、収益分配金の再投資が可能です。
課税関係	課税上は、株式投資信託として取扱われます。個人受益者については、収益分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の譲渡益に対して課税されます。NISA(少額投資非課税制度)およびジュニアNISA(未成年者少額投資非課税制度)の適用対象です。税法が改正された場合等には、変更となることがあります。くわしくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

ご購入の際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

ワールド・ビューティー・オープン(為替ヘッジあり)／(為替ヘッジなし)

手続・手数料等

■ファンドの費用

お客さまが直接的に負担する費用

購入時手数料 購入価額に対して、**上限3.24%(税抜 3.00%)**(販売会社が定めます)
(購入される販売会社により異なります。くわしくは、販売会社にご確認ください。)

信託財産留保額 ありません。

お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用(信託報酬) 各ファンドの日々の純資産総額に対して、**年率1.7712%(税抜 年率1.6400%)**をかけた額

その他の費用・手数料 監査法人に支払われる各ファンドの監査費用・有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料・有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用・その他信託事務の処理にかかる諸費用等についても各ファンドが負担します。
※上記の費用・手数料については、売買条件等により異なるため、あらかじめ金額または上限額等を記載することはできません。

※運用管理費用(信託報酬)および監査費用は、日々計上され、毎決算時または償還時に各ファンドから支払われます。

※上記の費用(手数料等)については、保有金額または保有期間等により異なるため、あらかじめ合計額等を記載することはできません。
なお、各ファンドが負担する費用(手数料等)の支払い実績は、交付運用報告書に開示されていますのでご参照ください。

本資料のご利用にあたっての注意事項等

●本資料は、三菱UFJ国際投信が作成した資料です。投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。●本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。●本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。●本資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮していませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。●投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。銀行等の登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の補償の対象ではありません。●投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。

●委託会社(ファンドの運用の指図等)

三菱UFJ国際投信株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号

加入協会:一般社団法人 投資信託協会

一般社団法人 日本投資顧問業協会

<ホームページアドレス> <https://www.am.mufg.jp/>

<お客さま専用フリーダイヤル> 0120-151034

(受付時間 営業日の9:00~17:00)

●受託会社(ファンドの財産の保管・管理等)

三菱UFJ信託銀行株式会社

ご購入の際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

販売会社情報一覧表 投資信託説明書(交付目論見書)のご請求は下記の販売会社まで

ファンド名称: ワールド・ビューティー・オープン(為替ヘッジあり) / (為替ヘッジなし)

商号 (*は取次販売会社)	登録番号等	日本証券業協会	一般社団法人 日本投資顧問業協会	一般社団法人 金融先物取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品取引業協会
藍澤證券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第6号	○	○		
株式会社愛知銀行	登録金融機関 東海財務局長(登金)第12号	○			
株式会社阿波銀行(為替ヘッジありのみ取扱)	登録金融機関 四国財務局長(登金)第1号	○			
株式会社イオン銀行	登録金融機関 関東財務局長(登金)第633号	○			
株式会社岩手銀行	登録金融機関 東北財務局長(登金)第3号	○			
エース証券株式会社	金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第6号	○			
株式会社SBI証券	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第44号	○		○	○
株式会社大分銀行(為替ヘッジなしのみ取扱)	登録金融機関 九州財務局長(登金)第1号	○			
岡三にいがた証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第169号	○			
株式会社沖縄銀行	登録金融機関 沖縄総合事務局(登金)第1号	○			
カブドットコム証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第61号	○		○	
株式会社関西アーバン銀行	登録金融機関 近畿財務局長(登金)第16号	○		○	
株式会社きらぼし銀行	登録金融機関 関東財務局長(登金)第53号	○		○	
株式会社近畿大阪銀行	登録金融機関 近畿財務局長(登金)第7号	○			
ぐんぎん証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2938号	○			
株式会社群馬銀行	登録金融機関 関東財務局長(登金)第46号	○		○	
株式会社京葉銀行	登録金融機関 関東財務局長(登金)第56号	○			
株式会社高知銀行(為替ヘッジなしのみ取扱)	登録金融機関 四国財務局長(登金)第8号	○			
静岡東海証券株式会社	金融商品取引業者 東海財務局長(金商)第8号	○			
七十七証券株式会社	金融商品取引業者 東北財務局長(金商)第37号	○			
株式会社島根銀行(為替ヘッジなしのみ取扱)	登録金融機関 中国財務局長(登金)第8号	○			
株式会社清水銀行	登録金融機関 東海財務局長(登金)第6号	○			
株式会社十六銀行	登録金融機関 東海財務局長(登金)第7号	○		○	
株式会社常陽銀行(為替ヘッジなしのみ取扱)	登録金融機関 関東財務局長(登金)第45号	○		○	
新大垣証券株式会社	金融商品取引業者 東海財務局長(金商)第11号	○			
株式会社大光銀行	登録金融機関 関東財務局長(登金)第61号	○			
第四証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第128号	○			
株式会社但馬銀行	登録金融機関 近畿財務局長(登金)第14号	○			
株式会社筑邦銀行(12月17日から取扱開始)	登録金融機関 福岡財務支局長(登金)第5号	○			
株式会社中京銀行	登録金融機関 東海財務局長(登金)第17号	○			
中銀証券株式会社	金融商品取引業者 中国財務局長(金商)第6号	○			
東海東京証券株式会社	金融商品取引業者 東海財務局長(金商)第140号	○		○	○
株式会社東京スター銀行	登録金融機関 関東財務局長(登金)第579号	○		○	
とうほう証券株式会社	金融商品取引業者 東北財務局長(金商)第36号	○			
とちぎんIT証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第32号	○			
株式会社トマト銀行	登録金融機関 中国財務局長(登金)第11号	○			
株式会社長崎銀行(為替ヘッジなしのみ取扱)	登録金融機関 福岡財務支局長(登金)第11号	○			
株式会社南都銀行	登録金融機関 近畿財務局長(登金)第15号	○			
株式会社八十二銀行	登録金融機関 関東財務局長(登金)第49号	○		○	
株式会社福井銀行	登録金融機関 北陸財務局長(登金)第2号	○		○	
株式会社福島銀行(為替ヘッジなしのみ取扱)	登録金融機関 東北財務局長(登金)第18号	○			
株式会社北陸銀行	登録金融機関 北陸財務局長(登金)第3号	○		○	
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第165号	○	○	○	
株式会社宮崎銀行(為替ヘッジなしのみ取扱)	登録金融機関 九州財務局長(登金)第5号	○			
むさし証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第105号	○			○
株式会社横浜銀行	登録金融機関 関東財務局長(登金)第36号	○		○	
楽天証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○
ワイエム証券株式会社	金融商品取引業者 中国財務局長(金商)第8号	○			
朝日信用金庫*(為替ヘッジなしのみ取扱)	登録金融機関 関東財務局長(登金)第143号	○			
いちい信用金庫*(為替ヘッジなしのみ取扱)	登録金融機関 東海財務局長(登金)第25号	○			
帯広信用金庫*(為替ヘッジなしのみ取扱)	登録金融機関 北海道財務局長(登金)第15号	○			
北伊勢上野信用金庫*(為替ヘッジなしのみ取扱)	登録金融機関 東海財務局長(登金)第34号	○			
きのくに信用金庫*(為替ヘッジなしのみ取扱)	登録金融機関 近畿財務局長(登金)第51号	○			
呉信用金庫*	登録金融機関 中国財務局長(登金)第25号	○			
湖東信用金庫*	登録金融機関 近畿財務局長(登金)第57号	○			
埼玉縣信用金庫*(為替ヘッジなしのみ取扱)	登録金融機関 関東財務局長(登金)第202号	○			
三条信用金庫*(為替ヘッジなしのみ取扱)	登録金融機関 関東財務局長(登金)第244号	○			
城北信用金庫*	登録金融機関 関東財務局長(登金)第147号	○			
瀬戸信用金庫*(為替ヘッジなしのみ取扱)	登録金融機関 東海財務局長(登金)第46号	○			
知多信用金庫*(為替ヘッジなしのみ取扱)	登録金融機関 東海財務局長(登金)第48号	○			
東春信用金庫*	登録金融機関 東海財務局長(登金)第52号	○			
のと共栄信用金庫*(為替ヘッジなしのみ取扱)	登録金融機関 北陸財務局長(登金)第30号	○			
播州信用金庫*	登録金融機関 近畿財務局長(登金)第76号	○			
飯能信用金庫*	登録金融機関 関東財務局長(登金)第203号	○			
姫路信用金庫*(為替ヘッジなしのみ取扱)	登録金融機関 近畿財務局長(登金)第80号	○			
平塚信用金庫*(為替ヘッジなしのみ取扱)	登録金融機関 関東財務局長(登金)第196号	○			
福岡ひびき信用金庫*(為替ヘッジなしのみ取扱)	登録金融機関 福岡財務支局長(登金)第24号	○			
碧海信用金庫*(為替ヘッジなしのみ取扱)	登録金融機関 東海財務局長(登金)第66号	○			